



## TOPICS -

# 親子で料理にチャレンジ

## 親子クッキングスクール

村公民館事業「親子クッキングスクール」は2月13日、村公民館で行われました。

親と子どもが一緒に料理にチャレンジすることで、親子の絆を深めることを目的に親子4組10人が参加しました。

この日は、全国学校給食甲子園で入賞したメニュー「ぶた肉の唐揚げ～大豆ソースかけ～」「じゅうねん卵入りサラダ」「かぼらいすいとん汁」の3品を親子で協力しながら調理し、自分たちで作った料理を楽しく味わいました。



## 親子で調理を楽しむ参加者



大樂村長から認定書が交付されました

## 魅力ある農業経営を目指す 農業経営改善計画認定書交付式

認定農業者制度に基づく農業経営改善計画認定書交付式が2月10日、役場村長室で行われ、大樂村長から認定者に認定書が交付されました。

認定農業者制度は、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者(経営体)が、5年後の目標として自ら作成した農業経営改善計画を、村長が認定するものです。

今回認定されたのは、高野博光さん・治夫さん(発地岡)、舟木久さん(岡田)、芳賀登さん(田苗下)、芳賀省悟さん(鍛治平)、澤口和久さん・誠治さん(青生野)で、いずれも再認定。認定書交付後、大樂村長が「農業で安心できる暮らしを次の世代にバトンタッチできるような農業経営に期待します」と激励の言葉を述べました。

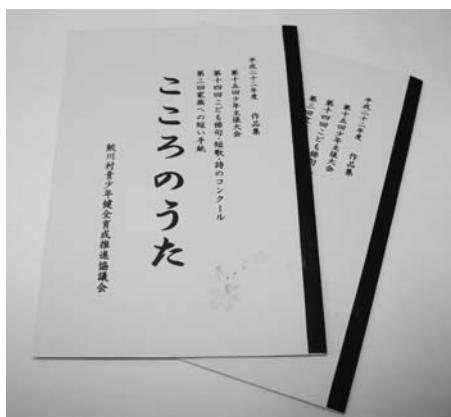
## 「こころのうた」を発刊

## 少年主張大会、俳句・短歌・詩のコンクール、家族への短い手紙作品集

鮫川村青少年健全育成推進協議会主催の第15回少年主張大会および第14回こども俳句・短歌・詩のコンクール、第3回家族への短い手紙に応募のあった作品をまとめた「こころのうた」が発刊の運びとなりました。

少年主張大会では、8人の小学生から高校生までが日頃考えていることや感じていることを文章にまとめ、各学校の代表として多くのみなさんの前で発表しました。また、こども俳句・短歌・詩のコンクールは、小・中学生が、地域や家庭で自分の体験・観察から学んだことや感じたことを率直に俳句や短歌、詩で表現しています。家族への短い手紙では、家族が日頃感じている思いを短い言葉で表現しています。

子どもたちの「こころ」が集まってできた作品集です。公共施設などに置いてありますので、どうぞご覧ください。



発刊された「こころのうた」

月から4月にかけては、  
3 転勤や就職、進・入学などにより住民異動が多くなります。この時期、初めて住所を変更するという方も多いことでしょう。

正しい住所を届けていないと、国民年金や国民健康保険、子ども手当などの給付が受けられなくなる場合があります。さらに、お子さんの入学などさまざまなる影響が出てきてしまいます。

# 3月・4月は住民異動シーズン 届け出をお忘れなく

## ■ 住所変更などの主な届け出

こんなとき	届け出の種類	届け出に必要なもの	届け出期限
村外から移って きたとき	転入届	<input type="checkbox"/> 転出証明書(前住所地で発行) <input type="checkbox"/> 国民年金手帳(加入者のみ)	本村に来てから 14日以内
村外へ移るとき	転出届	<input type="checkbox"/> 国民健康保険証(加入者のみ) <input type="checkbox"/> 印鑑登録証(登録者のみ) <input type="checkbox"/> 転出先の住所	村外に移る前に
村内で住所を変 更したとき	転居届	<input type="checkbox"/> 国民年金手帳、国民健康保険 証(加入者のみ)	引っ越した日か ら14日以内
世帯主が変わっ たとき	世帯主 変更届	<input type="checkbox"/> 国民健康保険証(加入者のみ)	変更した日から 14日以内
加入している保険 が変わったとき	取得届	<input type="checkbox"/> 国民健康保険証(世帯に加入 者がいる場合) <input type="checkbox"/> 資格喪失証明書	異動した日から 14日以内
	喪失届	<input type="checkbox"/> 国民健康保険証 <input type="checkbox"/> 新しい保険証	異動した日から 14日以内

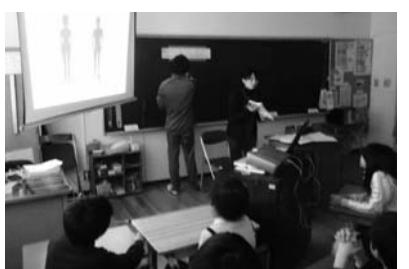
※印鑑はどの届け出にも必要ですので、忘れずに持参してください。

「赤ちゃんはどこから来るのかな。」「おへそってどんなやくめをするんだろう。」

子どもたちから素直な疑問が聞かれました。

小学校では教科のほかに「総合的な学習」の時間が教育課程に位置づけられています。

全学年で人間の成長に関する授業が行われています。その中に、性に関する題材があり子どもたちは真剣な態度で取り組みました。日頃は、なかなか話題にすることが少ない面かと思います。



本校では、学級担任と養護教諭がチームを組んで授業を行っています。はじめのうちは、「えーっ。はずかしい。いやだなあ。」との声が聞かれました。性に関する資料や体験談などを聞くと子どもたちはいつの間にか表情が真剣になりました。「もつと教えてください。〇〇についてもつと調べたいです。」授業後にインターネットに向かい、さらに詳しく調べようとする多くの児童が見れました。ＩＣＴを活用した交流授業を取り入れて行きたいと考えています。（文・写真 鮎川小学校）



授業の一コマより

# 学校だより

鮫川小学校 編  
永山 陽一校長  
児童 190人